

 <p>ボーイスカウト尾張東地区広報誌</p>	<p>①各団、各隊の活動報告</p> <p>②各団の隊長紹介は 今日はお休みです</p>		<p>第4号 平成25年4月20日 編集・発行 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者 野村 典孝</p>
--	--	--	--

◇ 「スキー訓練で学んだ事」

江南第1団 BS隊

高村 龍之介

今年のスキーはボーイスカウト活動として6回目のスキーとなりました。流石に5回もやっていると、並には滑れるようになるのですが足をそろえて左右に動きながら滑ることや上級向け、エキスパート向けの所では滑る事などの勇気を出せず5回目も終了してしまいました。ですから今年こそはという思いでこの6回目に挑みました。自由滑走の時間になりました、ついに上級向けのコースに挑む時がやってきました。しかし見下ろすと足が震え、前が見えなくなりました。でも、今年こそはと決めていたので、友達と励ましあい、勇気を出して滑り出しました。最初の滑り出しはとても怖かったのですが次第に「怖い」が「楽しい」に変わっていきました。

私生活でもこのように一歩踏み出せない事があると思うけど、勇気を出して何事にも挑戦していきたいです。



◇ 「1泊2日の短い思い出」

江南第1団 BS隊

中村 信吾

僕はボーイスカウトの活動でアルコピアスキーフィールドにスキーをしに行きました。

僕は何度かリーゼンというコースに挑みまし

たが、必ず転んでしまって大変な事になっていました。ただ、リーゼンにはハの字ブレーキはあまり効かず、蛇行が有功だという事が、身にしみてわかりました。僕の心に残った事はくだらない事かもしれないけど、スキーぐつが脱げなくなってしまった事です。最初は、たいした事はないだろうと思っていたけど、後から段々と泣きそうになってしまいました。このように、さまざまな思い出ができましたが、とても短かったです。

でも、久しぶりにやったスキーは気持ちがよかったです。



◇ 「釣れたワカサギ」

江南第1団 BS隊

濱田 恭輔

1月の頭にボーイスカウトで行った、ワカサギ釣りでワカサギを2匹釣ることができました。ぼくは、1年前に行った時、まったく釣れなかつたので今回もどうせ無理と思って行ったけれど釣れてうれしかったです。古知野神社から入鹿池まで行くのは、とても長く、つかれるので、めんどうくさいと思っていたけど、釣った時、そのめんどうくさいという感情が全てうれしいという感情に変わり、すごくいい気持ちになりました。1匹目釣れた時は、とてもうれしく、2匹目は、感覚が

無かったけど気分で上げたら、釣っていたので、とてもうれしかったです。このワカサギ釣りは、最初は、めんどうくさいという気持ちで始まったけど、最後は、最高の気持ちで終わられたのでよかったです。

これは、ボーイスカウトの中でも大きな思い出のひとつです。



◇「春2まつり」

春日井第2団 ボーイ隊

大島 彩加

私は、12月16日に団主催の春2まつりに参加しました、春2まつりでは、2年後に団設立50周年になるという事で、スカウト一人一人が2年後の自分宛のメッセージ（手紙）を書きました。書いた手紙は、アルミホイルに包んでローソクの中に入れました。そして、50周年の時にローソクに火をつけると、アルミに包んだ手紙が出てくるという仕掛けになっています。またお祭りでは、クリスマスに近いこと也有って、BS隊が作成したイグタの上にCS隊、BS隊が飾りをつけた手作りのクリスマスツリーを乗せて運ぶゲームをしました。



BVS隊からRS隊のスカウトと指導者、団委員さん、保護者が100人以上集まり、みんながひとつになった気がしました。

2年後に自分へのメッセージを読んだ時、自分がどう思うかが今からとても楽しみです。

◇「春2クリスマス大会」

春日井第2団 カブ隊
久保 智



12月16日に他の隊の人達とクリスマス大会をしました。クリスマス会では、ベンチャー隊のお兄さんやお姉さんが、料理を作ってくれました。デザートもたくさんで、いつもどちがってごうせいでした。みんなでゲームをしたり、練習してきた出し物の発表をしました。さいしょはきんちょうしましたがうまくできてうれしかったです。いつもよりおおぜいでやったのでたのしかったです。

◇「名古屋までの旅」

大口第1団 ボーイ隊
長谷川 翼

僕達ボーイ隊は、11月10日に名古屋港まで自転車ハイクをしました。片道は何と45km!!! 時間は3時間!!! 聞いて驚きましたが、走ってみるとあっという間に1/3まで行けました。途中、班長の自転車がパンクしたけど、名古屋港まで無事にたどり着けました。名古屋港には「海王丸」という帆船が来ていて、帆を張るところも見れたのでラッキーでした。帰りは半分を過ぎてから疲れがどっと出てすごく足が重くなりました。バテバテになりながらも、なんとか大口町まで帰って来

ました。とても貴重な体験が出来て良かったです。



◇ 「はつがま」

大口 1 第団 カブ隊
中村 文咲

1月20日、大口1だんと、かすがい5だんのカブたいで、いっしょにかつどうをしました。ざいりょうをかって、おもちをつかったりようりたいけつをしたり、コマをつくってコマまわし大会をしたり、はつがまのやりかたを教えてもらったりしました。

かすがい5だんのりょうはとってもおいしかったけど、まっちゃはにがかったです。コマ回し大会で、わたしはCDをつかったコマをつくりました。なん回かまけたけど1回はかてたのでうれしかったです。またみんなであそびたいなとおもいました。



◇ 「スキー訓練」

大口第1団 組織委員
石岡 やよい

ホワイトピア高鷲スキー場へ行って来ました。初めてスキーを履いたスカウト全員がリフトに乗って、一人で滑り下りて来れるほどの上達ぶりでした。



◇ 「除夜の鐘」

江南第2団
ボーイ隊 山本竜也

ぼくは、2012年12月31日午後11時30分自分の家を出ました。ぼくは自転車で20分ぐらいの常観寺というお寺にいきました。そこには町内の人たちがいっぱいいました。ぼくは寒かったのでたき火の前でずっといました。そして「始まりま～す」という声でみんなが鐘のところまでいき一人ずつ鐘をつきに行きました。自分の番がきました。ぼくはおもいっきり力を入れて鐘をつきました。その鐘の音は町中にひびきわたりました。ぼくはなんか心がゆみました。すごく不思議な気持ちになりました。と、自分のうで時計を見るともうすっかり、1月1日元日でした。ぼくはこの除夜の鐘つきにこれて、とてもよかったです。



◇ 「今年度の活動の中で印象に残ったこと」

小牧第2団 カブ隊

くま 佐久間 遥大

1年間の感想は、組長はたいへんなことがわかった。つらかったのはみんなをまとめることがだった。と山やハイキングはすごくむずかしくてたいへんだった。キャンプはべんとうがおいしかった。つりはいまいちだった。いちばんのしかったのはかいものでした。ももとブルーベリーとりんごキャラメルをかいました。バスの中ではよった。きもちわるかつた。いっぱいしゃえいはねぶくろでねて、ともだちにとられてさむかった。きもだめしはすごくこわかったです。もちつきでつきたてのおもちはおいしかったです。

長谷川 裕樹

キャンプでともだちのいびきでねむれなかつた。うさぎをみつけてたべたくなつた。ながればしを見れてうれしかつた。かいだんぱなしにさいしょはびびったけどきいてみるとおもしろかったです。

しか 気駕 典子

わたしは夏のキャンプに行って、みんなは2泊したけど私は1泊でした。さいしょは去年よりいいバンガローだったのでうれしかつたです。一番楽しかつたのは川遊びです。川遊びでは水をかけあったりダムを作ったりしましたが、わたし1人だけ川の中に入つたらしいのでうれしかつたです。二番目に楽しかつたのは魚つりです。魚つりでは、石にひっかかたりはっぱがつれたりしたし、みんなつれなかつたけどけっこう楽しかつたです。三番目にうれしかつたのはうさぎを見つめます。わたしは動物が好きだし、うさぎが好きなのでよかつたなと思いました。ことしは楽しかつたです。

猪上 泰輝

キャンプのとき、よるリーダーがかいだん話をするといつたのでびっくりしたけど、その話は、かいだんからぜんてんをしてころがりおちたという話でおもしろかったです。

猪上 将輝

キャンプでまずはバンガローにとまりました。バンガローでは川あそびやスタードームで星のかんさつをしました。それからバンガローにかえってねました。つぎの日テントに泊まりました。はがきを書いてあかりのありがたみを知りました。つぎの日こけしをつくりました。楽しかつたです。

鎌田 康平

1ぱくしゃえいでうれしかつたこと、かなしかつたことがあります。一つ目は自分たちでカレーを作つてぼくはカレーのぐざいを作つているときに、スライサーで指を切つてしまつたときがとてもかなしくていたくてつらかったです。夜ねぶくろでねているときにねぶくろをとられたときがくやしかつたです。キャンプもとても楽しかつたです。テントでねぶくろをなげたことが楽しかつたです。

岩瀬 朋郎

秋の一泊しゃえいでだれかがシュラフに入つてきました。それが楽しかつたです。

今井 佑輔

いっぱいの感想は、きもだめしがこわかったです。ごはんはカレーライスがおいしかつたです。虫が外にはちょうどたくさんいました。ナイトハイクが楽しかつたです。



小牧第2団 カブ隊

うさぎ 日紫喜 もえ

私はうさぎになって楽しかつたことはB Pさいです。B Rさいではペープサートをやりました。初めてだったのできんちょうしました。でも自分の番になって「やるぞ！」というきもちになりました。すごくじょうずにできたのでうれしかつたです。B Pクイズはすごくむずかしかつたけど、あてはまるものを書きました。せいかいもあつたけどまちがつたのもあつたのでざんねんだつたけど、いろいろなことが知れてうれしかつたです。B Pさいをまたやりたいです。

長谷川 夢香

私はキャンプに行ってつりをしました。みんなつれなかつたのでざんねんでした。でもたいいけんができたのでよかったです。あと、テントでねたりバンガローでねたり、2泊3日の内でいちばんたのしかつたのは水あそびととうもろこしがりです。水あそびは川でダムをつくってあそびました。とうもろこしがりは、上のほうのもじやもじやが茶色で大きいのがおいしいと言ってたので、そのとおりにとりました。またとうもろこしがりやいろいろなことをしたいです。



藤澤 隼人

ぼくはキャンプの買い物でかぞくの分をかいりました。活動では、おじいちゃん、おばあちゃんの分と家族分とお父さん、お母さんの友だち分のいろいろなきねんのおみやげをもらいました。家に帰ってあげたらとてもよろこんでいたのでとてもうれしかつたです。

吉良 鳩己

キャンプのとき、ちようからいスパゲティをたべました。あまりのからさに口から火がでそうになりました。ピーマンがきらいだったのにむりやりたべさせられました。キャンプにいったときがいちばんたのしかつたです。ぎふじょうへのぼったときやとざんのときはにそうでした。いびきをかきまくりました。リーダーがうさぎとともにだちとへんなことをいいました。とうもろこしがりで3きょうだいのをとりましたが、ちいさくてダメだといわれかえてもらいました。

林 徹泰

今年の夏は二はく三かのキャンプをやりました。山のぼりがすごくたいへんでした。なぜかというとくだりざかがいっぱいあつたからです。ナイトハイクは雨でちゅうしになりました。うさぎが野原にいました。バンガローは天国みたいでした。テントはねるときにつらかったです。こけしをつくってへんな人ができあがりました。おみやげはりんごキャラメルとまねきねこをかいりました。またきっと

あそこのしよう年しぜんの家にいきたいです。

石竹 陸真

なつのキャンプのときのスパゲティがからくてたべられなさそうでした。ほかにもたべられなさそうなものやおいしいものもありました。うさぎもとびだしてきました。リーダーがうさぎとともにだちといみのわからないことをいったのでおもしろかったです。また見たいです。

◇ 「春4BP祭」

春日井第4団

R S隊 水野 宏紀

我ら春4の団行事『BP祭』の企画、計画、運営はローバースカウトがやります。そのためローバー会議を夜遅くまで何回か行いあーでもない、こーでもないといいつつ当日を迎えます。春4のBP祭はカブ、ボーイ、団委員さんが劇をし、ビーバーさんはかわいい衣装を着てほ呼ばれする（特にお母様向け！）歌を歌ってくれます。このとき一番お母様方がシャッターを押しています。かわいいですもんね☆ また、今年のカブは民話を題材に6組それぞれDLさんのもと自由かつ面白い劇を披露してくれました。桃太郎の劇が3つあったのにどの桃太郎もこれはほんとに同じ桃太郎なの？と突っ込むくらいオリジナリティが高くて面白かったです。ベンチャーはローバーの補助をしてくれるのでとても頼りになります。ローバーは自分たちの1年の活動をスライドで紹介します。さらに、劇と劇の間の準備時間を利用して有志で出し物をやってもらっています。バイオリンとピアノを演奏するスカウトや風船で花を作る保護者、ギターと歌で魅してくれる団委員さんなどとても楽しいBP祭です。BP祭が終わると評価・反省を夜遅くまであーでもない、こーでもないといいつつ来年のBP祭をよりよいものにするための会議をします。こんな感じで僕らローバーは活動しています。これからもローバースカウトとして、みんなのお兄さんとして楽しい活動をしていきたいです。



◇ 「雪中キャンプ」

春日井第4団 VS隊
林崎 智和

2月8日から11日にかけて、ベンチャーチーム、ローバー隊そしてガールスカウト合同で雪中キャンプを実施した。事前準備として、各自寝袋を二重にしたり厚手の服を多めに持ってきてたりするなど防寒のための対策や、それぞれが担当する食事の材料を下ごしらえした状態で持ってくるなどした。キャンプ初日、夜7時半にスカウトハウスに集合し、岐阜県高山市にあるアルコピアスキー場に到着したのは深夜近くだった。設営開始時には、雪が降っておらず風も吹いていなかったので容易に設営が出来た。寝る時は、しっかりと防寒準備をしていたのでよく寝れた。



雪中キャンプの中は主に自由滑走をした。ほかには本隊スカウトのレンタル合わせやスキー訓練の支援などをした。スキーは約4年ぶりだったのでほとんど滑れなくて驚いた。徐々に慣れてはいったが、頂上には行けなかつたので今度は行ってみたい。夜、食事をし

た後スキー場を登りソリ遊びをした。いろいろなハプニングが起きてしまったが、結構楽しめた。そのような感じで時間が過ぎていき、最終日の撤営時にはみんなテンションが高かった。みんな疲れていたが無事に帰ってこれてよかったです。普段経験できない雪の中でのキャンプというのは厳しい環境ではあったが、とても充実していた。この貴重な経験をこれからも活かしていきたい。

では最後に一言、
”これは遊びではない。訓練だ！”



◇ 「スケートしたよ」

小牧1団 カブ隊
しか 岡野 桃子

わたしは、2月17日にはうわスポーツランドへ電車に乗って行きました。スケートは三回目です。だけど、うわスポーツランドは、初めてなので、すごくどきどきしていました。うわスポーツランドでまず最初に、おにぎりを食べながらスケートを見ていました。スケートをやる前に、インストラクターさんがスケートの事と、スケート靴のはき方と、むすび方も教えてもらいました。2時間ぐらいスケートリンクで、お友達と追いかけっこをしたりして遊んでいました。

わたしは、スケートで、上手に滑れてすごくうれしかったです。

次は、家族みんなで行きたいと思いました。

◇ 「スケート訓練したよ」

小牧1団 カブ隊
くま 岡野 耕大
ぼくは、2月17日に名古屋にある邦和スポ

一つランドに、みんなで電車と地下鉄に乗って行きました。邦和スポーツランドには、テニスコートや中庭があり、僕たちはスケート場に行きました。そのスケート場は有名な選手「鈴木明子」さんがスケートの練習をやっている場所です。スケート場の外には、選手のサインや写真がたくさんかざっていました。最初にインストラクターの人に滑り方などを教えてもらい、最初の三十分は、初心者用の所で滑り、そして、一周が長いコースで滑りました。

ぼくは、最初うまく滑れるか心配だったけど、自分が思っていたよりうまく滑る事ができ、楽しかったので良かったです。また行きたいと思いました。



◇ 「ぼしゅうイベントを終えて」

日進第2団

カブ隊 西村まりな

ぼしゅうイベントは5つのチャレンジがありました。5つのチャレンジの中で私の心に最も残ったのは、五平もち作りコンテストでした。五平もち作りコンテストは、割りばしにおにぎりのようなご飯をさしサランラップで形を整え、焼き、味付けをするというものです。私は星の形がキレイで好きなので、それを作ったらチームのみんなが「すごい！」といってくれたので、うれしかったです。そして私の作った星形の五平もちはチーム代表のしんさ用になりました。残念ながら1位はとれず3位でしたがとても楽しかったです。5つ目の最後のチャレンジが終わったとき、

『どんぐり大王』が出てきて、表しょうをしました。総合順位は2位で『銀のどんぐり』をもらいました。1位は『金のどんぐり』、3位は『ふつうのどんぐり』でした。1位をとれなかったのは少し悔しかったけど、来年また、がんばりたいです。<<...>>



◇ 「はつもうで」

春日井第8団 カブ隊

しか 西村海斗

1月13日、ぼくは電車に乗って、はつもうでをする神社（注 春日井七福神めぐり）に行きました。一つ目は、かいだんの長いきつい神社でした。ほかにもかいだんが長いところもあれば、かいだんのないばしょもありました。時間がなくて、さいごの神社には行けませんでしたが、6つの神社に行けてよかったです。帰るときには足がいたかったけど、がんばって、レディヤンまで歩きました。



◇ 「スキーはたのしい」

春日井第8団 ビーバー隊
たかの ようへい

はじめて、のりくらでスキーくんれんをしました。たいちようがスキーをおしえてくれました。「ころぶのもれんしゅうだよ」といつてくれたので、ぼくはたくさんころびました。さいごはリフトにのってすべりました。

とってもたのしかったです。



◇ 「スキーに行ったこと」

春日井第8団 カブ隊
くま 古藤大雅

ぼくは、のりくら青少年交流の家で2泊3日のスキーくんれんをしました。最初はソリで遊びました。2日目はスキーの先生にスキーを教えてもらいました。初めは、スキーの板を8の字にしてすべりました。ブレーキは8の字を広げてするのですが、むずかしくて転んでばかりいました。でも、だんだんにうまくできるようになったから、うれしかったです。3日目は自由にスキーをすべりました。スキーを早く走らせることができ、楽しかったです。みんなとスキーで競争をしました。ここに来て、スキーがすごく上手になれて、うれしかったです。

また、スキーに行きたいです。



◇ 「歳末もちつき大会」

春日井第8団

団委員 野村 多美子

12月2日昨年に引き続き、春日井市の協賛を得て、春日井国際交流協会と合同での春日井市内に在住、在勤している外国人の方々ともちつきをしました。10ヶ国を越える人たちを含め全部で100名ほどの人たちが、日本の伝統文化であるもちつきと、花もちを体験しました。初めてもちつきをする人も多く、初めはぎこちないつき方でしたが、何回も杵を振り上げているうちには、さまになってくるようになりました。スカウトたちは、いろいろな国の人たちに「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」は「どう言うの」と、教えてもらっていました。日頃、あまり接することのない国の人たちとの会話は、とても勉強になったと思います。彼等も、とても親切に自分の国のことやスカウトたちに話をしてくれました。言語、文化、伝統、習慣の違いに驚いたりしていましたが、ここから第1歩が始まることを期待しています。

伊藤春日井市長も忙しい中もちつきに来て頂きました。市長は剣道に携わっているため、姿勢もよく、美しいフォームでもちをつけ、子供たちには美しいもちのつきかたを指導していただきました。

ささやかではありますが、ボースカウト活動が地域の国際交流活動に寄与できたことは、とても意義あることと感じました。

今後とも、この活動を継続、発展していくたいと思いました。



◇ 「クリスマス会」

日進第1団ビーバー隊

小原 陽(こはらはる)

ぼくはクリスマス会にさんかしました。出し物で劇「チビクロとトラ」をやりました。ぼくは主役をやりました。泣きながら帰るシーンがうまくできるかしんぱいでしたが、うまくできてうれしかったです。出し物の後でぼくの顔くらいの大きなプリンを食べました。バケツに入っていたのでお皿に出すときにくずれるかと思いました。きれいにお皿に出たので、すごいと思いました。ほっぺが落ちるくらいおいしかったです。

クリスマス会はとても楽しかったので、もっとあそびたかったです。



◇ 「私は目標を達成しました」

日進第1団 カブ隊

山下 さくら



私は目標についていた「スーパーカブ」になりました。チャレンジ章の内容は私が今まで知らなかったり、興味がなかったことをよく知るチャンスになりました。チャレンジ章を一つ一つ習得していくことは大変な時もあつたけど、自分で目標が達成できた時はとてもうれしく、自信を持つことができました。

◇ 「キャンプファイヤー」

日進第1団 カブ隊

小原 ひなた

私たち、カブスカウト日進一だんは、8月16、17、18日に夏きしやえいに行きました。その中で、一番心にのこったのは、キャンプファイヤーです。

キャンプファイヤーではその日のために練習してきたスタンツを発表しました。楽しかったです。そのほか、デンリーダーによるゲームなどをしました。

自分たちと同じくらい大きな炎がときどき風にふかれ「わび」（むかしからあつた赤いうち上げ花火のこと）のようにひらめき、とてもきれいでした。



◇ 「焚き火」

犬山5団ボーイ隊は、2012年11月10日神子森橋にて「焚き火」をしました。

焚き火は新入隊員から指導者まで、皆の大好きな活動です。

炎で調理をし、炎をみて癒され、秋の夜長も暖かく過ごせました。



◇ 「登山」

犬山5団カブ隊は、2012年11月23日近隣の低山で登山を楽しみました。ひばりヶ丘公園を出発して、東海自然歩道を歩き、大平山山頂で昼食後、継鹿尾山八葉蓮台寺寂光院（つがおざんはちようれんだいじじゃこういん）に降りました。寂光院では見事な紅葉に心を奪われました。



◇ 「もちつき＆凧作り」

犬山5団は、2012年12月16日塔野地公民館にて一般参加者を招き、餅つきと凧つくりを行いました。子供達が凧を作っている間に団委員の方々が餅つきの準備をしていただき、みんなで交代しながら楽しく餅をついて食べました。あんこ、きなこ、おろしと味も色々で、いつもよりも沢山食べたスカウトは、出来上がった凧を揚げて元気に走り回っていました。



◇ 「スキー訓練」

犬山5団は、2013年1月12-14日流葉スキー場にてスキー訓練を行いました。ビーバー、カブ、ボーイはスキーで、ベンチャーはスノボで、3日間大いにはしゃぎました。宿では、目上の者が幼い者の面倒を見夜の集いではスカウトもリーダーも一緒に盛り上がり、団の一体感が感じられるプログラムでした。



◇ 「たこあげ」

犬山5・7団は、2013年1月20日木曽川緑地にて凧揚げ大会を行いました。ビーバーはグニヤ凧、カブはダイヤ凧、ボーイは六角凧、ベンチャーは立体凧。デザインの良い凧、一番高く上がった凧を隊ごとに選び、表彰しました。風がとても強く、壊れる凧が続出しましたが、修理してはリトライを繰り返し、元気に正月の一日を楽しみました。

